



ほごしゃ
保護者のみなさんへ

2023年3月発行

みなりん教育だより

だい ごう
第3号



みなとくちょう やまぐちてるみ
港区長 山口照美

みなとくたんとうきょういくじょう
(港区担当教育次長)

しょうがくせい ほごしゃ
小学生の保護者のみなさん、こんにちは! いよいよ卒業や学年

お まいにちかお あ
の終わりですね。毎日顔を合わせていると気づきにくいのですが、

おお せいちょう
こどもたちは大きく成長しています。「できるようになったこと」を見つけて、言葉
にしてほめてあげてください!

みんなで見直そう! 防災対策 ~「どこに逃げるか」を決めておこう~

3月4日・5日に「南海トラフ巨大地震」の想定ドラマと特集がNHKで放映されました。港区は津波や高潮のリスクがあるまちです。ドラマの中では家族3人がバラバラの場所にいる時間帯に地震が起こり、連絡が取れなくなる描写がありました。実際に起こることです。

もし南海トラフ巨大地震が起きた場合、「114分」で津波が来ると予測されています。まずは命を守るために、津波避難ビルの3階以上などの、避難先を決めておいてください。

次に、確実につながる電話番号を、できれば複数(携帯・自宅・職場の電話番号など)のメモをランドセルに入れるなど、お子さんに持たせておいてください。また、連絡手段として「災害伝言ダイヤル」もあります。

さいがいでんごん 「災害伝言ダイヤル 171」で検索して、使い方を確かめておいてください。

きんじょ ひと かおみし ちようかい はい ぼうさいたいさく
近所の人と顔見知りであること、町会に入っておくことも防災対策です。

とく きんじょ あそ とき じしん お かんが ちいき
特に、子どもが近所で遊んでいる時に地震が起きたら……と考えると、地域とのつながりがあると安心です。地域の防災訓練には、ぜひ参加をおすすめします!

おおさかみなとく ぼうさい
大阪市港区 防災 で 検索



『親子で読書のススメ』

『親子のための地震イツモノート』(ポプラ)

しゃ え よりふじぶんぺい へん じしん
社) 絵:寄藤文平 / 編:地震イツモプロジェクト

はんしんあわじだいしんさい けいけんしゃ
阪神淡路大震災の経験者

こえ あつ じしん
の声を集めた「地震イツモノー

ト」を子どもに向けにしたもの。

いっしょ じしん お
子どもと一緒に、地震が起きた

とき かんが
時にどうすればいいか 考え

じしん お
るのにぴったりです。「もしも」地震が起きたらどうす
るかではなく「いつも」備えておくべき内容が具体的
に書かれています。防災を「自分ごと」に!



子育ての悩み、メールでも相談できます!

港区役所「子育て支援室」ご案内

さい さい こそだ
0歳から 18歳までの子どものことや、子育て・
がっこうせいかつ かん なや
学校生活に関する悩み、ヤングケアラーについて
など、どんなことでも相談してください。
しんりし かてい じどう そうちだんいん
心理士や家庭児童相談員などが、窓口やお
てんわ そうちだんう
電話・メールで相談を受けています。

◆子育て支援室◆

みなとくやくしょ かい ほけん ふくしき
港区役所3階 保健福祉課

TEL: 06-6576-9844

minato-kosodate@city.osaka.lg.jp

月~金: 9:00~17:30 ※祝日・年末年始のぞく

